

# 福田寺だより

発行

 飯田山 福田寺  
 住職 橋本尚信

 神奈川県小田原市飯田岡二五七  
 電話 0465(36)2755

## いのちの尊厳とは

家族葬・散骨・墓終い

今、自分の命の終わり方が盛んに論じられており、エンディングノートなるもので販売されている。それだけ死を迎える年代層が多い、つまり少子高齢化の現象の一つです。同時に家族葬、散骨、墓じまいなる言葉が当たり前のように使用されています。これらの現象は団塊の世代が居なくなるまで、あと20〜30年くらいは続きます。

(かく言う住職も団塊世代です)

高齢化社会では当然のごとく取りざたされる問題ではありますが、人数だけの事でなく社会の構造の変化も大きく関わりを持っています。

特に家族構成や地縁社会の変化です。

今や独り暮らし又は夫婦二人のみの世帯が約六割を占める世帯構成や、第一次産業に関わる人口の減少による地縁社会の崩壊といった社会現象は、先祖供養の方法にも大きな変化をもたらしております。そしてそれらの変化に乗じて、霊園業者や葬儀に関わる業者が、時代に乗り遅れないようにと煽り立てるのです。

しかしよく考えてみると、先祖供養や祀りごとに対して人々の気持ち自然程変化するとは思えません。更にはひとの命の尊厳は、時代によって変わるものではありません。

業者主導の祭祀方法に惑わされる事なく、一個人のいのちの尊厳を見つ

める時自ずとどのような方法が良いのか見えてくると思います。

そこで今回は「墓終い」についてお話したいと思います。これは今まで先祖が祀られていたお墓を閉じて更地に戻し、ご遺骨やお土を他の場所に移すことであります。多くは地方から都会に移り住んだ人が、故郷のお墓は遠いし、自分が遠いお墓に入るのは忍びない、又、子供たちに遠い親の故郷の墓を守らせるのはどうか、といった状況で行われる場合が多いです。

上の状況では致し方ないかと思いますが、地方創生が進められる中、出来るだけ故郷のお墓を守って欲しいと思います。況んや墓終いなる言葉に踊らされて、移転しなくても良いのに、自分たちの都合だけで移転を進めるなどもっての他です。慎重に冷静に考えて欲しいものです。それでも迷った時は住職に相談するのが一番間違いない解決策でしょう。日常から相談出来る住職がいればの話ですが……。

# 納骨堂完成特集



福田寺納骨堂が完成しましたので、工事の概要を報告させていただきます。設計・施工業者との打ち合わせは昨年（平成二十五午）のうちにはほぼ終わり、近隣住民への説明会も平成二十五年十二月六日に済ませました。平成二十六年五月十二日契約、五月十八日地鎮祭、六月二日着工、十月二十八日完了・引き渡しが出来ました。予定より一ヶ月早く完了しました。

平行して納骨壇の制作依頼、契約を進め12月19日第一期納入完了しました。周りの植栽その他境内整備がまだ出来ていませんが、第一次申込みをされた方から順番に場所を決めていただき、年が明けて時期をみて、納骨式を修行したいと思っております。

福田寺式の納骨堂は小田原では初めてで有ります。その特色は各家の人が自分の家の納骨壇の前で手を合わせ礼拝出来る事です。いわばコンパクトな墓地の屋内版と想っていただけと分かりやすいと思います。これまでの納骨堂は、ご遺骨を収納又は合葬して、全体の御堂あるいは供養塔の前で礼拝する形式であります。今までの納骨堂では、ご先祖様との距離感があり先祖供養の気持ち薄らいでしまうように思えます。

皆さんもご自分がご遺骨になった時を想像してみてください。分かるとおもいます。また祭祀承継者が居ないご夫婦や、自分のあとお参りしてくれる人が居ない方も、永代供養その他の方法でご供養出来るよう、個々の事例に則したかたちでお紀り出来ます。

納骨堂についてご質問がありましたら遠慮なくお問い合わせ下さい。また、お知り合いの方で先祖供養をお考えの方がおられましたら、勧めてあげて下さい。



## 仏教相談

誰でも気軽にどうぞ  
勿論檀家さん以外でも  
仏事に関して、  
どうしたらよいのか？  
どんな些細な事でもご相談  
ください。

電話 0465(36)2755

福田寺

# アナ雪とお大師様の教え

「それ仏法はるかにあらず。心中にしてすなわち近し。真如外ほかにあらず身を棄てていずくんか求めん。」

これは弘法大師様の著作、『般若心経秘鍵』の一節です。

『般若心経秘鍵』とは弘法大師様が般若心経というお経を解釈した書物です。

その中の一節を示しましたが、これは仏教徒にとつての信仰のすべを示してくれていると思います。

私達は、仏教、仏法、仏様、悟りなどといって、何か仏教を信仰することによって得られるであろう素晴らしい世界が何処かに在ってそれを探しあてようとしています。探しあてることが仏教を理解し信仰することだと思っています。

しかし心の平安をもたらす悟りの世

界などどこを探しても見つかるものではありません。

自分の心の中にすでにあつて誰もがすでに持っているではないか！

ただ気づかないだけなのだ。

真如真如といつて真実なる世界がどこか遠く他に在るように思うがそんなものはどこにもない。どうして自分の肉体や心を棄てて探しまわっているんだ。そんなものどこを探しても有りはしない。自分の肉体、心の中にすでに存在しているのではないかと教えてくれているのです。

私たちはただ気がつかないだけのことです。

私はよく地獄の湯と極楽の湯のお話をしますが地獄の場になるか、極楽の湯になるか中に入っている人々の心がけしだい決まる。同じ条件で

も地獄になるか極楽になるかは人の心次第で決まるのです、とお話させて頂きますが、弘法大師様の先の文章も全く同じ事を言っているのだと思います。

今年大ブレイクしたアナと雪の物語りも同じです。

「ありのままでよい」「ありのまま自分の心の中を見たとき全ては平和になる」

自分の幸せは自分の心の持ちようで一瞬にして感じられるものである。

弘法大師様はこころの持ちようというものを常に教えてくれているように思います。



# 護摩供養会

## 二月八日午後三時より修業

### (申込み受付中)



昨年より新年厄除け護摩を一ヶ月遅らせ、二月八日の午後三時よりと変更させていただきました。正月八日は住職が本山に向かなければなりませんし、また、節分過ぎを新年と考え、新年薬師護摩供養としては適切な日を設定させて頂きました。時間も午後三時からと、就学児も参加できる時間に変更致しましたのでよろしくご諒承いただきますようお願い申し上げます。

記

期日 二月八日、午後三時より

祈祷料 三千円

祈祷内容 厄難消除(厄除け)

身体健全、病魔退散、家内安全

交通安全、商売繁盛、業運繁栄

学業成就、合格祈願、安産祈願

子授け祈願、その他

◇申込み：一月末日まで。電話可

電話 0465-2755

FAX 0465-6688

## 平成二十七年 厄年

(男性)

前厄 昭和五十年生まれ

本厄 昭和四十九年生まれ

後厄 昭和四十八年生まれ

(女性)

前厄 昭和五十九年生まれ

本厄 昭和五十八年生まれ

後厄 昭和五十七年生まれ

## 元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より1時まで、住職により新年のご祈祷が修法されます。ご自由に参加ください。

## 暮れのお参り

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めて下さい。特に大きなものや、燃えないものは連絡ください。

## 年回のお知らせ

来年度の年忌(年回)法要の張り紙を本堂に掲げておきますので暮れのお参りのときに自分の家の年忌を確認して下さい。

年忌に相当している場合、法要の日取りを早めに連絡して下さい。